

鈴木 寧々 さん

【受験歴】

24年 独学 5科目合格

25年 独学 2科目合格(財務・経営法務) 2次試験不合格 ACBB 総合B

26年 MMC 2次試験合格

【There is something about MMC】

私がMMCを知ったのは偶然でした。25年に2次試験を受験し、財務事例が壊滅的だった翌日、勤務先に某大学院の診断士コースの方が、飛び込みで修士論文のためのヒヤリングに来たのです。用件に対応した後、昨日の不出来を引きずっていた私はつい、「実は昨日・・・」という話から始まり、「あんな問題が出たら来年も合格できないだろうから、診断士の養成コースも検討しようかと・・・」と言うと、「それもいいけど、その前にMMCに行ってみたら？ 2次試験受験者の6割が合格しているらしい」6割が合格している学校って一体どんなところなのだろう？ 早速、他の学校も含め模範解答例を5つくらい取り寄せて、何が違うのか熟読しました。

その後参加した説明会でのお話では、実績のアピールは特になく「MMCが目指しているのは、千利休の茶碗のような逸品を作ることではなく、量産品の茶碗を作ること。方法は外段取り化と金型化」。その時、私が解答例を読んで感じたのは、まさにそういうことだと納得しました。

通信受講に際しては、客単価向上のために通学に誘導されることもなく、「通信も通学も中身は一緒」「でも模擬試験は会場で受けた方がいい」「アドバイス付返却も受けて」「CDは買う必要がない」等のアドバイスをいただき、「お客のメリットを優先し、ひたすら質を追求する職人さんっぽい感じ・・・」と思いながら聞いていました。「やはりMMCには何かある」と確信した日でした。

【MMC受講前の学習方法】

MMCを受講する前までは、市販のテキストと音声データを使った独学でした。

初年度の前半は、息子の受験や、活発な活動が自慢の町内子供会の執行部役員にクジ引きで当たった不運があり、あまり学習時間が確保できなかったため、主に通勤時や家事をしながら音声を聞いて暗記しました。7科目のうち、暗記中心の5科目に絞り、机に向かう必要があると思われた財務と経済の学習は次年度に先送りしました。結果は、幸運にも経済がぎりぎり合格だったかわりに、経営法務がぎりぎり不合格でした。

次年度は、財務と経営法務も無事合格し、2次試験を初受験しました。1次試験合格後に、過去問を3年分解いてから、いろいろな合格・不合格解答例が掲載されている市販本を読んで、なんとなく感じをつかんだつもりになって受験しましたが、不合格でした。

【MMCを受講して】

2次試験の目標は、「財務以外はギリ合格点」「財務は見たことがある問題は絶対間違えない」にしました。

苦手は財務とマーケティングでした。

《マーケティング》

最初に2次試験を受けたとき、私は「よいアイデアをぎっしり詰め込んで書くのが合格の秘訣」という大きな勘違いをしていました。そのため、添削の際、よく「題意のずれ」を指摘されていました。早

い段階での「グッドアイデアは求められていません」というコメントでその勘違いに気づき、題意からずれないように注意して答案を作成していましたが、ほとんど 55～62 点くらいでした。

《財務》

財務も7月ごろまで全然できませんでした。GWの財務特訓コースを受講時にいただいた問題集は「1日1問を2回やれば大丈夫」ということだったので、受講当初いただいた問題集(基本と応用)とそれを順番に1日1問欠かさず解きました。2回目に解く際は、間違いやすいポイントを単語カードに記入し、通勤時などに繰り返し確認しました。すると言われたとおり、9月ごろから急に解けるようになってきました。3回までの模擬試験の財務では、いつも「下の中」くらいでしたが、最後の4回目は442人中16位に上がりました。

MMCの財務事例は、条件設定が細かく、間違いやすいポイントが散りばめられていて、難易度が高いため、直前に過去問を解いたとき、簡単と感じたほどです。解説も、図などを用いてわかりやすく、「なるほど。そういうことだったのか」ということが何度もありました。動画等での解説は、小難しい内容を、小学校高学年くらいでも理解できると思えるほど噛み砕いてあり、しかも、決して忘れない印象深い方法で教えていただいたので、だんだん財務が楽しくなってきました。

《全体的に》

2次試験対策は、机(というか食卓)で勉強できる限られた時間は、添削課題と財務の問題集、過去問に費やし、動画はタブレットに入れて、通勤等の移動時間や入浴時に、繰り返し見ていました。添削課題や過去問解説に基づいて注意ポイントを記入した上述の単語カードは、全事例分作成、常時携帯し、スーパーのレジ待ち等、すき間時間をフル活用して、頭に入れました。

【本試験にて】

事例1～3は、淡々と終わり、いよいよ事例4となりました。最初に全体をさらっと見たら、意表を突いた問題がなかったので安心し、プロダクトミックスは絶対に落とせないから、その前の問題をササッと解いて、プロダクトミックスを解いてからゆっくり見直しをしようと作戦を立てました。ところが、プロダクトミックスのところで、貢献利益がマイナスの製品Zの生産を中止する前提で解いた後、「外注でもないのに、個別固定費は発生しないと決めつけていいのか」とはたと気づき、どちらにするか散々悩んで、結局、個別固定費は回避できない前提で、記入したものをすべて消して書き直しました。そうこうしている間に時間がなくなり、その前のNPVの問題のポカミスにも気づかず、その後の為替の問題もありえないミスをするなど、今ひとつな出来でした。昨年と違った意味で、やはり財務は魔物だと思いました。

【最後に】

財務は上述のとおり、練習の成果が出せず残念でしたが、他の事例に少しずつ救われたのか何とか合格できました。MMCは、「とにかくがっつり勉強しなさい」的な、おおざっぱなスタンスではなく、「本当に必要なことを必要な量だけ」という基準点が明確なため、無理なく楽しく学習を続けることができました。

ポイントを突いたご指導で、私を合格に導いてくださった中居先生はじめ、添削でお世話になった先生方には、心から感謝しております。本当にありがとうございました。